

# 教室だより

佐渡市立金井小学校  
佐渡ことば・こころの教室  
平成23年10月28日  
第772号

〒952-1209 佐渡市千種155  
Tel: 0259 (63) 4156 (直) 4115 (代) FAX: 4117  
<http://kanai-es.sado.ed.jp> E-mail: kanai-es@sado.ed.jp



多くの学校では、文化祭が終わったころだと思います。文化祭には、作品展示のほかに、学習発表会や体験活動・バザーなどもあり、子どもも教師も忙しい毎日を過ごしたことと思います。大きな行事が終わり、これから落ち着いて活動に取り組める時期です。ゆったりとした気持ちで子どもたちとかかわりたいですね。

## 子どもたちがどんな世界をみているか？

中央児童相談所  
高原 稔

ある子どもが「誰も自分のことを分かってくれない！認めてくれない！」と語気を荒げて言いました。ある子どもは「(自分なんて)生まれてこなければ良かった」と話します。こうした気持ちを繰り返し訴える子どもたちには、世界はどのように見えているのだろう、感じられているのだろうと、心配になります。

“誰も認めてくれない” “生まれてこなければ良かった” etc・・・。ひどく寂しい世界を感じているのではないか(客観的な事実とは別として)。そして、これからも、そのように世界を感じとって行くのだろうかと考えてしまいます。

相談の中で、子どもたちに、どんな世界が感じられるようなメッセージを送っているだろうか。必ずしも客観的に世界を捉えられない子どもたちに、様々な内容のメッセージを一つ一つ詳細に、丁寧に、繰り返し、伝えていかなければならないのだと、最近感じています。



## 吃音のあるお子さんには

御自身も吃音がある小林宏明先生(金沢大学)の講義を聴きました。吃音はよく氷山に例えられ、海面上に浮かんで見える部分が「あ、あ、あの…」などの吃音の言語症状で、海面下に沈んで見えない大きな部分には情緒や心理的問題や環境の問題などがあるとされています。小林先生は氷山に $\alpha$ (アルファ)の要因があり、 $\alpha$ には本人の困り感(吃音があっても平気と思えるかどうか)やニーズ(自分自身がどうなりたいか)があると考えています。具体的な支援の一例として、保護者の同意を得てから子どもに「吃音」という言葉を教えるそうです。言葉を知ると、子どもはほっとするようだと話していました。また、日直で話すことが苦手な子どもへの配慮として、もう一人の当番児童と一緒に話してよいかと担任に尋ねるよう助言し、あらかじめ担任にもその旨を伝えておくとういいます。

子どもと保護者の気持ちに寄り添うことと具体的な支援の大切さを学びました。今日からの自分の指導に生かすよう頑張りたいと思います。(金子)



# 親の会コーナー



## 親子体験活動と懇談会を行いました！

10月2日（土）、金井小学校で親子体験活動を行いました。お忙しい中、総勢52名の方から参加していただきました。今回の体験活動では、しまびと元気応援団の方を講師にお招きし、カレーとはちみつハニーゼリーを作りました。親子で触れ合いながら調理・会食をし、楽しい時間を過ごすことができました。また、会食後、会員同士での懇談会を行いました。日頃の悩みなどを話し合い、会員同士のつながりを深めることができました。

### 参加者の感想

- 家では、あまり野菜を切ったり炒めたりする経験をさせていないのですが、今日は「自分からやりたい」と言ってくれたのでよかったです。みんなで作ったカレーとゼリーはおいしかったです。ゼリーにミニトマトが入っていてびっくりしましたが、トマトはすっぱくなくて、おいしかったです。
- 子どもとゆっくり料理をする機会がないので、一緒にできる機会を作ってもらい、ありがたかったです。野菜の皮むきや食器洗いを進んでやってくれる姿が見れて、うれしかったです。家でも、このような時間を作りたいと思いました。



複数の親子がグルー  
プになって、調理活  
動を行いました。

# お知らせ



## 第2回運営委員会の開催について

第2回運営委員会を下記の日程で行います。運営委員の皆様、よろしくお願いたします。

- ◆日時 11月21日（月）10：00～11：30
- ◆会場 金井小学校 会議室

## 第1回判定委員会がありました！

10月21日（金）に金井小学校校長室で第1回判定委員会が行われ、38人の入級が認められました。判定委員の先生方、ありがとうございました。

